



お知らせ

平成 19 年度後期 フォトン・ファクトリー研究会の募集

放射光科学研究施設長 若槻壮市

物質構造科学研究所放射光科学研究施設（フォトン・ファクトリー）では放射光科学の研究推進のため、研究会の提案を全国の研究者から公募しています。この研究会は放射光科学及びその関連分野の研究の中から、重要な特定のテーマについて1～2日間、高エネルギー加速器研究機構のキャンパスで集中的に討議するものです。年間6件程度の研究会の開催を予定しております。

つきましては研究会を下記のとおり募集致しますのでご応募下さいますようお願いいたします。

記

1. 開催期間 平成 19 年 10 月～平成 20 年 3 月
2. 応募締切日 平成 19 年 6 月 15 日（金）
[年 2 回（前期と後期）募集しています]
3. 応募書類記載事項（A4 判、様式任意）
 - (1) 研究会題名（英訳を添える）
 - (2) 提案内容（400 字程度の説明）
 - (3) 提案代表者氏名、所属及び職名（所内、所外を問わない）
 - (4) 世話人氏名（所内の者に限る）
 - (5) 開催を希望する時期
 - (6) 参加予定者数及び参加が予定されている主な研究者の氏名、所属及び職名
4. 応募書類送付先
〒 305-0801 茨城県つくば市大穂 1-1
高エネルギー加速器研究機構
物質構造科学研究所事務室
TEL：029-864-5635

* 封筒の表に「フォトン・ファクトリー研究会応募」と朱書のこと。

なお、旅費、宿泊費等については実施前に詳細な打ち合わせのうえ、支給が可能な範囲で準備します（1 件当たり上限 50 万円程度）。

また、研究会の報告書を KEK Proceedings として出版していただきます。

Photon Factory Activity Report 2006 ユーザーレポート執筆のお願い

PFACR2006 編集委員長 間瀬一彦（KEK・PF）

物質構造科学研究所・放射光科学研究施設（Photon Factory）では、施設の活動報告集として毎年 Photon Factory Activity Report (PFACR) を発行しております。PFACR は、放射光科学研究施設の概要、年間の運転状況、新設ビームラインの紹介、光源加速器の R&D で得られた成果などについての報告書であるとともに、PF でユーザーの皆様が当該年度に実施された実験課題で得られた新しい結果の報告の場でもあり、広く国内外に配布して PF の活動を伝えて参りました。2006 年度（2006 年 4 月～2007 年 3 月）の成果をまとめる PFACR2006 は本年秋の発行を予定して編集作業を開始致しました。つきましては、皆様が過去 1 年程度の間 PF で実施された研究をユーザーレポートとして収集したいと考えておりますので、皆様の研究成果をレポートとして是非お送り下さるようお願い申し上げます。皆様の寄稿が PF の研究活動を計る重要な物差しであり、また PF を支援して頂き、ひいては皆様の研究環境の改良にも繋がるものと考えております。

2006 年度に PF で実験を行った全てのユーザーの方にレポートを寄稿して頂くのが基本ですが、データ解析あるいは解釈の問題がありますので、必ずしも 2006 年度に限定せず、それ以前の実験結果の報告でも結構です。

PFACR は、Part-A の Highlights and Experimental Facilities と Part-B のユーザーの皆様からの研究報告（ユーザーレポート）に分かれており、PFACR2001 から Part-B は CD-ROM のみでの出版となっております。PFACR2000～2005 は PF の Web ページ、<http://pfwww.kek.jp/pfacr/index.html> でご覧頂けます。

ユーザーレポートの原稿や電子ファイルの準備・投稿要領は下記ホームページに掲載しておりますので、ご覧下さい。

PFACR2006 ホームページ：

<http://pfwww.kek.jp/acr2006/editj.html>

原稿締め切り：5 月 31 日（木曜日）厳守をお願い致します。

多くのユーザーの皆様からのレポートをお待ちしております。

また、Part-A には出版物リストを付けています。これは PF で行われた研究を基に執筆された論文リストであると共に、PF の活動のバロメータでもあります。未登録論文は、

http://pfwww.kek.jp/users_info/users_guide/pubdb.html

から登録をして下さい。以前に出版されたものでも結構ですので、是非登録をお願い致します。

尚 PFACR2006 についてのお問い合わせは、PF 秘書室（TEL:029-864-5196, E-mail:pf-sec@pfqst.kek.jp）までお願い致します。

総合研究大学院大学 高エネルギー加速器科学研究科物質構造科学専攻 大学院説明会及び学生募集のお知らせ

総合研究大学院大学（総研大）は、「大学共同利用機関」の高度な研究環境を活用した大学院大学です。学部を持たない大学院だけの大学で、独創的・国際的な学術研究の推進や先導的学問分野の開拓に対応する研究者の養成を目的としています。

物質構造科学専攻は高エネルギー加速器科学研究科に属し、基盤共同利用研究機関としては、高エネルギー加速器研究機構物質構造科学研究所が対応しています。博士5年教育（5年一貫制）と博士後期3年教育コースを準備しています。物質構造科学専攻では、物質構造科学研究所において、世界最先端のビームの発生と加工に関する技術開発研究や新しい利用研究手法の開発、先端的利用研究を行っている研究者の指導の下に、その将来を担い、かつその発展に貢献する有為の人材の養成を目的としています。新しいことにチャレンジし、世界に飛び出していく意欲のある方の参加を期待しています。

（物質構造科学専攻 専攻長 下村 理）

大学院説明会

第1回（大阪）

日時：6月9日（土）午後1時より 午後5時頃まで
場所：梅田スカイビル会議室（大阪市北区）22階会議室F

- ・研究科紹介（北澤良久）
- ・加速器科学のフロンティア（鎌田 進）
- ・次世代加速器への挑戦（早野仁司）
- ・放射光が拓く生物学（小林克己）
- ・放射光と原子分子科学のフロンティア（東 善郎）
- ・素粒子、原子核、宇宙の理論研究の最前線（岡田安弘）
- ・素粒子・原子核実験の最前線（片山伸彦）

第2回*）つくば

日時：6月14日（木）午前10時より
場所：高エネルギー加速器研究機構 国際交流センター

- ・研究科紹介（北澤良久）
- ・加速器科学のフロンティア（鎌田 進）
- ・超伝導技術が招く加速器のあした（古屋貴章）
- ・放射光が拓く生物学（加藤 龍一）
- ・固体物理のフロンティア（門野 良典）
- ・素粒子、原子核、宇宙の理論研究の最前線（岡田安弘）
- ・素粒子・原子核実験の最前線（宇野彰二）

第3回（東京）

日時：6月16日（土）午後1時より 午後5時まで
場所：学術総合センター（東京都千代田区一ツ橋）
特別会議室

- ・研究科紹介（北澤良久）
- ・次世代加速器への挑戦（早野仁司）

- ・超伝導技術が招く加速器のあした（古屋貴章）
- ・放射光が拓く生物学（加藤龍一）
- ・物性物理の最先端（澤 博）
- ・素粒子、原子核、宇宙の理論研究の最前線（岡田安弘）
- ・素粒子・原子核実験の最前線（宇野彰二）

題目・講師は、変更となる場合がありますのでご了承下さい。いずれも申し込み等は不要です。当日直接会場までお越しください。

講演に引き続き、志望研究室・研究者訪問（14日）、学生・教員交流アワー（16日）を企画しています。

*）第2回は、第18回夏期実習（6月11日～6月13日開催。）の翌日に開催されます。

詳細については <http://www.kek.jp/sokendai/index.html> をご覧ください。

総研大物質構造科学専攻 募集概要

平成19年10月入学生および平成20年4月入学生

1. 募集人数

入学課程	募集人数	
	2007（平成19）年 度10月入学	2008（平成20） 年度4月入学
5年一貫制博士課程	若干名	3名
博士後期課程	若干名	若干名

2. 願書受付期間

5年一貫制博士課程・博士後期課程（第1回募集）

2007（平成19）年7月6日（金）から7月12日（木）
博士後期課程（第2回募集）

2008（平成20）年1月8日（火）から1月11日（金）

3. 選抜の方法

5年一貫制博士課程：書類選考と学力検査及び健康診断により行う。

博士後期課程：書類選考と学力試験（面接）及び健康診断により行う。

4. 募集要項請求先

（平成19年度10月・平成20年度4月入学者募集要項については平成19年5月頃完成予定です。）

〒305-0801 茨城県つくば市大穂1-1
高エネルギー加速器研究機構
研究協力課大学院教育係
TEL 029-864-5128
e-mail : kyodo2@mail.kek.jp

総研大物質構造科学専攻の教育・研究内容については飯田（atsuo.iida@kek.jp）まで御問い合わせください。

2007 年度後半の運転予定について

放射光科学第一研究系主幹 野村 昌治

夏までの運転スケジュールについては既に確定し、本誌や web 等で案内しておりますが、年度後半の運転スケジュールの概要が見えてきましたので報告します。

PF の運転は特別教育研究経費「放射光による実験研究」で支えられていますが、この予算は 2006 年度比 1% 減となりました。一方、KEKB の予算は 6% 減となり、固定経緯部分を除いた機構各部の予算は 2006 年度比 10% 減で配分されました。これでも例年通りの運転をすることは予算的に不可能であり、止むを得ず運転時間を短縮することが所長会議で決定されました。この決定を受け、秋以降の運転を以下の様に予定しています。PF、PF-AR とも例年より 1 ヶ月弱少ない運転時間となります。より詳細なスケジュールについては決定次第、web に掲載する予定ですので、ご参照下さい。

	秋期	冬期
PF	9/25 ~ 12/10	1/24 ~ 2/29
PF-AR	9/27 ~ 12/10	1/28 ~ 3/10

PF-AR NE 地区ユーザースペースについて

放射光科学第一研究系 兵藤一行

2007 年 3 月には、PF-AR NE 地区のコンテナハウス等の利用に関する見直し整備が行われました。この整備は、PF-AR 全域の研究用スペース等の再配置の一環として実施され、今後も引き続き、より良い研究環境、居住環境実現のための整備を行っていく予定です。

今回は、ユーザーの皆様に関係する箇所として、今まで出されていたご要望、ご意見等を考慮して以下のような整備を実施しました（地図は、巻末 PF-AR 平面図参照）。

PF-AR 北棟

北棟 1 階に女性専用仮眠室（ベッド 2 台）を新たに配置しました。

PF-AR 北コンテナハウス（仮眠室+スタッフ用倉庫）

今まで PF-AR 南コンテナハウスに配置されていた仮眠スペースを北コンテナハウスに移動するとともにベッドの台数を増やしました（ベッド 6 台）。北コンテナハウス内の他のスペースはスタッフ用倉庫のみであるとともに、暗幕、空気清浄機等も新しく整備しましたので、従来より落ち着いた環境で仮眠ができるようになります。

PF-AR 南コンテナハウス（ユーザー休憩室）

今までと同様に休憩や打ち合わせ等に利用いただけます。また、コンテナハウス内西側には宅配使用スペースを設置しました。このスペースを利用した荷物の送受については PF 事務室までお問い合わせください。

ご不明な点やご意見等がございましたら、運転当番、PF スタッフにお気軽にご連絡ください。

PF 研究会プロシーディングス発行のお知らせ

放射光科学第一研究系 小出常晴

遅くなりましたが、昨年 5 月に KEK で開催された PF 研究会「高速スイッチング可変偏光アンジュレーター放射」に関する下記プロシーディングスが発行されました。

PF 研究会「高速スイッチング可変偏光アンジュレーター放射を利用した軟 X 線分光研究の新展開」, T. Koide, K. Ito and S. Yamamoto (Eds.), KEK Proceedings 2006-18, March 2007.

PF 研究会で御講演して下さった先生方、及び参加して下さった皆様方には、上記の冊子を自動的にお送り申し上げます。なお、諸般の事情を考慮して、本プロシーディングスを電子出版することは控えましたので、御理解下さるようお願い申し上げます。

また PF 研究会に参加されなかったけれども、上記プロシーディングス冊子を御希望の方は、PF ホームページ「出版物バックナンバー」(<http://pfwww.kek.jp/publications/pfpubl.html>) よりお申し込み下さい。

平成 19 年 5 月 7 日

関係機関の長 殿
関係各位

大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構
物質構造科学研究所長 下 村 理 (公印省略)

大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構
物質構造科学研究所教員公募について (依頼)

本機構では、下記のとおり特定有期雇用教員として、博士研究員を公募いたしますので、貴関係各位に御周知いただき、適任者の推薦または応募をお願いいたします。

記

公募番号 物構研 07-1

- 1 公募人員
博士研究員 (常勤) 1 名 (任期は単年度契約で 3 年まで延長可能)
- 2 研究 (職務) 内容
放射光科学研究施設において、内部専任スタッフの指導のもとに表面科学の研究に従事する。現在建設中の可変偏光アンジュレータビームライン BL-16 のコミッショニングに参加し、BL-16 を用いて、波長分散型 XAFS による表面化学反応の実時間追跡法や、マイクロビームと深さ分解 XAFS および XMCD による薄膜の三次元分析法などの開発および応用研究を行う。
- 3 応募資格
応募時点で博士の学位を有し、学位取得後 10 年以内の者又は着任までに学位取得が確実な者
- 4 公募締切
平成 19 年 5 月 30 日 (水) (必着)
- 5 着任時期
平成 19 年 7 月 16 日以降できるだけ早い時期
- 6 給与
基準年俸額 3,960,000 円 (事業年度の途中で採用された場合は、採用時期に見合った額) および、通勤手当
- 7 選考方法
原則として面接選考とする。
- 8 提出書類
(1) 履 歴 書……………通常の履歴事項の後に、①応募する公募番号 (2 件以上応募の場合はその順位) 及び、②可能な着任時期を明記すること。また、電子メールアドレスがある場合は明記すること。
(2) 研 究 歴
(3) 着任後の抱負
(4) 発表論文リスト……………和文と英文は別葉とすること。
(5) 論 文 別 刷……………主要なもの 3 編以内
(6) 本人に関する推薦書または参考意見書

上記の書類は、履歴書用紙を除き、すべて A4 判横書きとし、それぞれ別葉にすること。
なお、各葉に氏名を記入すること。
- 9 書類送付
送付先 〒 305 - 0801
茨城県つくば市大穂 1 - 1
大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構
総務部人事労務課任用係
封筒の表に「教員公募関係」「公募番号」を朱書きし、郵送の場合は書留とすること。
- 10 問い合わせ先
(1) 研究内容等について
研究主幹 若槻 壮市 (放射光科学第二研究系) TEL 029-864-5631 (ダイヤルイン)
(2) 提出書類について
総務部人事労務課任用係 TEL 029-864-5118 (ダイヤルイン)

人事異動・新人紹介

	発令年月日	氏名	現職	旧職
(昇任)	H19. 4. 1	三科 淳	物構研 放射光源研究系 先任技師	物構研 放射光源研究系 技師
	H19. 4. 1	豊島章雄	物構研 放射光科学第一研究系 技師	物構研 放射光科学第一研究系 技師補
(配置換え)	H19. 4. 1	佐藤昌史	加速器施設 第四研究系 技師補	物構研 放射光科学第一研究系 技師補
	H19. 4. 1	田原 俊央	物構研 放射光源研究系 技師補	物構研 中性子研究施設 技師補

予定一覧

6月11日 -13日	高エネルギー加速器研究機構 総合研究大学院大学「夏期実習」
6月15日	平成19年度後期フォトン・ファクトリー研究会募集締切
6月30日	PF, PF-AR 平成19年度第一期ユーザー運転終了
8月17日	KEKB 地区, PF-AR 地区停電
8月18日, 19日	つくばキャンパス構内停電
9月2日	KEK 一般公開

最新情報は <http://pfwww.kek.jp/spice/getschtxt> でご覧下さい。

運転スケジュール(May ~ Aug. 2007)

E : ユーザー実験 B : ボーナスタイム
M : マシンスタディ T : 立ち上げ
MA : メンテナンス SB : シングルパンチ

5月	PF	PF-AR	6月	PF	PF-AR	7月	PF	PF-AR	8月	PF	PF-AR
1(火)			1(金)			1(日)	M	M	1(水)		
2(水)			2(土)	E	E	2(月)			2(木)		
3(木)			3(日)			3(火)			3(金)		
4(金)	STOP	STOP	4(月)	MA/M	M	4(水)			4(土)		
5(土)			5(火)	B(SB)	B	5(木)			5(日)		
6(日)			6(水)			6(金)			6(月)		
7(月)			7(木)			7(土)			7(火)		
8(火)	T/M		8(金)	SB	E	8(日)			8(水)		
9(水)			9(土)			9(月)			9(木)		
10(木)			10(日)			10(火)			10(金)		
11(金)		T/M	11(月)	M	M	11(水)			11(土)		
12(土)			12(火)	B	B	12(木)			12(日)		
13(日)	E		13(水)			13(金)			13(月)		
14(月)		E	14(木)			14(土)			14(火)		
15(火)	B	B	15(金)	E	E	15(日)			15(水)		
16(水)			16(土)			16(月)	STOP	STOP	16(木)	STOP	STOP
17(木)			17(日)			17(火)			17(金)		
18(金)	E	E	18(月)	M	M	18(水)			18(土)		
19(土)			19(火)	B	B	19(木)			19(日)		
20(日)			20(水)			20(金)			20(月)		
21(月)	M	M	21(木)			21(土)			21(火)		
22(火)	B	B	22(金)	E	E	22(日)			22(水)		
23(水)			23(土)			23(月)			23(木)		
24(木)			24(日)			24(火)			24(金)		
25(金)	E	E	25(月)			25(水)			25(土)		
26(土)			26(火)	B	B	26(木)			26(日)		
27(日)			27(水)			27(金)			27(月)		
28(月)	M	MA/M	28(木)	E	E	28(土)			28(火)		
29(火)	B	B	29(金)			29(日)			29(水)		
30(水)			30(土)	M	M	30(月)			30(木)		
31(木)	E	E				31(火)			31(金)		

総研大・KEK夏期実習
6月11日～13日

スケジュールは変更されることがありますので、最新情報はPFホームページ(<http://pfwww.kek.jp/indexj.html>)の「PFの運転状況／長期スケジュール」(<http://pfwww.kek.jp/uten/titlej.html>)をご覧ください。